

創造工学 / 成績評価基準

60点を基準点として考え、以下の項目について考慮し、点数を加減する。

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| (1)欠 課 (1時間欠席 - 1) | - 10 ~ 0 |
| (2)作業への取組み(授業態度、向学心、責任感、協調性) | - 10 ~ + 10 |
| (3)企画書・加工要領書等の内容(計画性、解析・応用) | 0 ~ + 10 |
| (4)作品の独創性・想像性・完成度 | 0 ~ + 10 |
| (5)レポート&プレゼンテーション(文章力、発表力、質疑応答) | 0 ~ + 10 |

工学実験・工作実習評価法

機械工学科

工学実験

1・実施方法（3，4年生共）

- (1) 3 実験室すなわち 3 つの単位学生を 3 ないし 4 グループに分けてローテーションさせる。
- (2) 各実験室において，さらに 3 つ以上のテーマについて実験を行う。学科で用意したこれらの実験テーマは全て必修である。
- (3) 各実験室において成績評価を行い，それらをさらに全実験室について平均値を求め，これを最終的な成績とする。
- (4) 但し、いずれか 1 つの実験室の評価が 50 点未満の場合は不合格となる。
- (4) 成績評価は全テーマ終了した学年末に行う。

2．成績評価の方法：

- (1) 実験準備（装置の準備・実験方法などの説明）・実験（測定）・データ整理・検討考察を行い，最後にレポート作成・提出させる。
- (2) レポート提出の際には実験担当教員がチェックし，内容によっては加筆・訂正・再提出させる。
- (3) 評価のポイント：次の 3 点である。

必要な内容が正確にまた丁寧に書かれているか。

（実験の目的・装置・測定方法・データ整理法・実験結果・検討・考察など）

検討・考察の内容が適切か

レポート提出期限が守られているか

欠課はないか

* 60 点を基準点として、～ の項目について、それぞれ 10 点の範囲で加点する。

- (4) 再提出に応じて評価点を下げる。

工作実習

- 1，2 年で実施する工作実習の評価方法は上記(3)に準拠して行う

機械工学科 / インターンシップ報告会(案)および評価方法

- 1 . 基準点(50点)...実習実績とレポート提出により認められる評価点
- 2 . レポート評価点(Max.20点) :
 { 担当の先生(5,4,3点のいずれ) + 担任評価(5,4,3点のいずれ) } × 2
 * 評価の観点 : 取り組み姿勢(態度、向上心、責任感、協調性)
 レポート内容(文章力、解析力、独創性)
- 3 . 報告会評価点(Max.30点) / 各先生の評価(5,4,3点のいずれ)平均 × 6
- 4 . 総合評価
 評価点 = 基準点 + レポート評価点 + 報告会評価点
 * 最低評価点 : 80点、中間評価点 : 90点、最高評価点 : 100点
 発表会不参加の場合 : 62 ~ 70 点

